

A 日程	英語	国際経済学部
------	----	--------

1

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
B	C	B	C	C	C	C	D	D	A

2

<問題作成の基本的な考え方について>

国際経済学部のアドミッション・ポリシーでは、英語に関しては「読む・書く・話す・聞く」の4技能をバランスよく習得し幅広い基礎学力を身に着けていることを求めている。このことから、英語による質問に対して適切な回答を英語でアウトプットする能力を持っているかを測りたい。また、自らの考えを論理的にまとめ、わかりやすく伝えようとする意欲を測りたい。

<試験問題の内容および意図について>

(内容)

現在日本国内で普及している様々なキャッシュレス決済の方法を思い浮かべつつ、現金とキャッシュレス決済のどちらを好むかについて理由を2つ提示しつつ自身の見解を述べる。答えは120～150語の英文にまとめる。(語数を記入する必要はありません。)

(意図)

設問に対する回答を、指示された長さで、論理的でわかりやすい英文にまとめる能力が試されており、内容・言語・構造(読みやすさ)について総合的に評価する。